

アップルが Android に僅差に迫る中、米国の消費者はモバイル端末にスマートフォンを選ぶ傾向にある

このレポートは米国で 2012 年 1 月 18 日に発行されたものです。

ニールセンの最新の調査によると、スマートフォン所有者がアップルの iPhone を選ぶ上で、昨年秋に注目を集めたアップルの iPhone 4S の発売が多大な影響を及ぼしていることが分かりました。

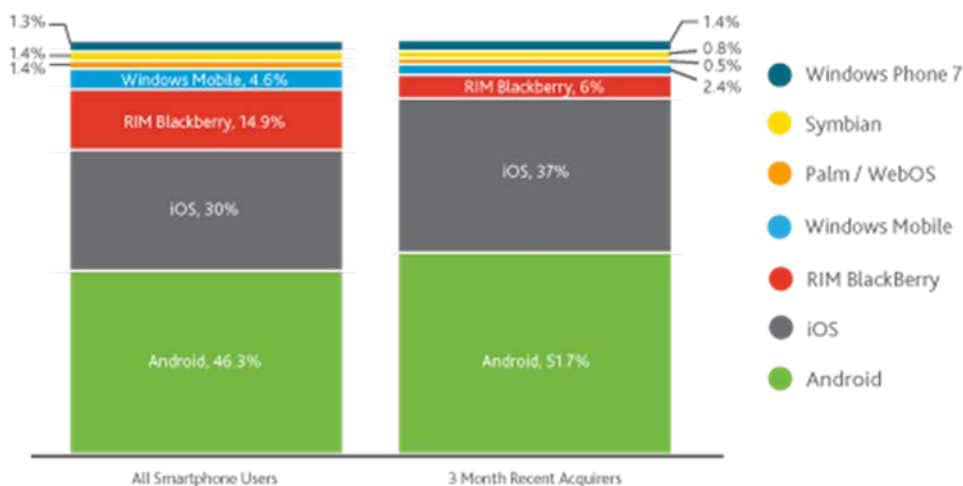
最近の購買者、つまり過去 3 ヶ月以内に新しい端末を購入したと回答した人の中で、iPhone を購入した人は 2011 年 10 月の時点では 25.1%でしたが、同年 12 月には 44.5%でした。また、新しい iPhone 所有者の 57%は iPhone 4S を購入していました。

Android は依然スマートフォン利用者に人気が高く、2011 年 10 月-12 月度に行ったサーベイでは、スマートフォン所有者の中で Android ベースの端末を所有している人が 46.3%でした。

2011 年 10 月-12 月度にスマートフォンを所有しているモバイル消費者の割合は全米で 46%で、この数字は急増しています。実際、過去 3 ヶ月以内に新しい端末を購入したと答えた人のうち 60%は、フィーチャーフォンよりスマートフォンを選んでいきます。

OS シェア: 全てのスマートフォン消費者 vs 最近のスマートフォン購入者 (3ヶ月)

2011年 10月-12月度、Nielsen Mobile Insights

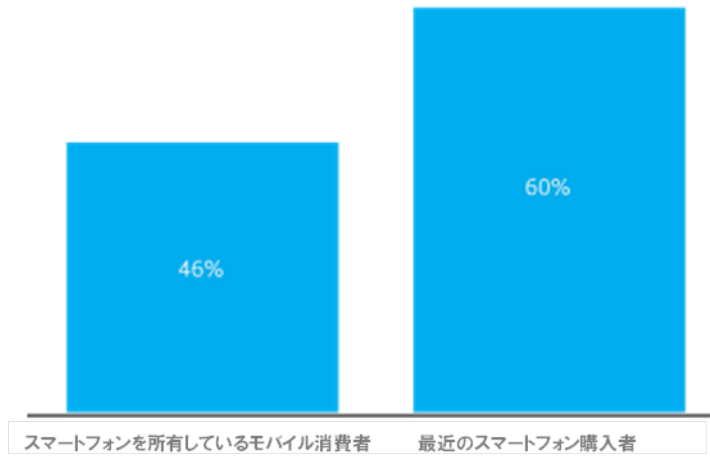


Source: Nielsen

スマートフォン浸透率:

全てのスマートフォン消費者 vs 最近のスマートフォン購入者 (3ヶ月)

2011年 10月 - 12月度 Nielsen Mobile Insights

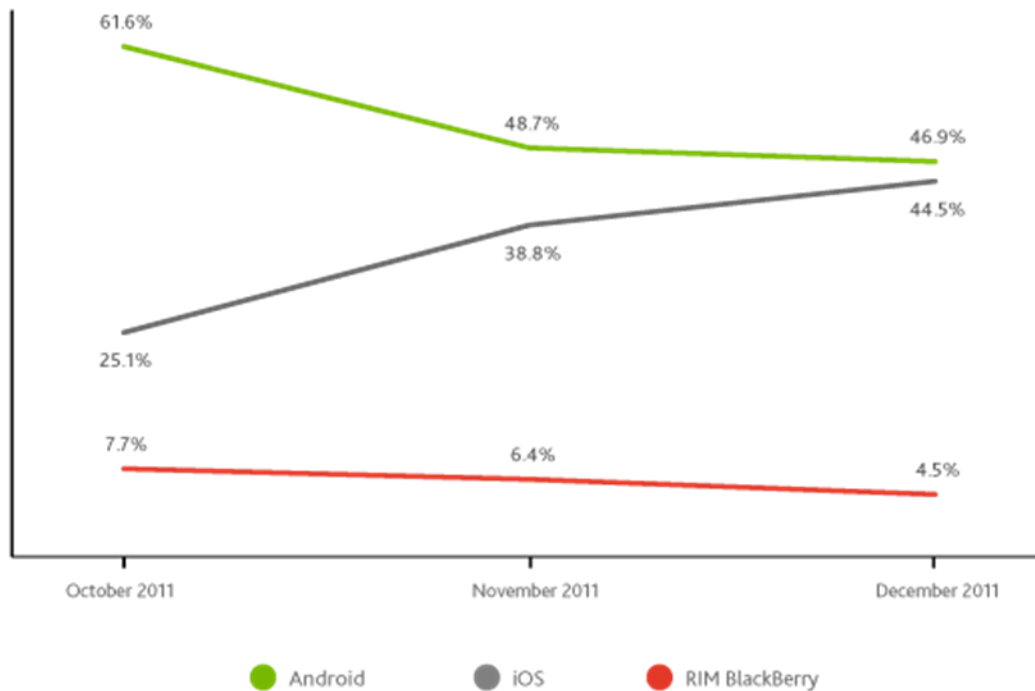


Source: Nielsen

nielsen

スマートフォン OS シェア: 最近のスマートフォン購入者

2011年 10月 - 12月度 Nielsen Mobile Insights



Source: Nielsen

nielsen